

授業科目	英語学概論Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21206J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	前期の英語学概論Ⅰの講義内容を理解していることが前提となる。英語学概論Ⅱでは、「語用論」「社会言語学」「英語と文化」「認知言語学」について学ぶ。色々な理論についての講義を聞き、それを応用して自分なりに英語の表現について考え英語の深さを実感できるようにする。授業の中盤で、語用論的見方で分析したことに関する発表をする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語用論について理解し応用できる。 2. 社会言語学について理解し応用できる。 3. ことばに影響を与える文化について理解し応用できる。 4. 認知言語学について理解し応用できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	0	40	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20			10			30	
知識・理解 (DP1-2)	20			10			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10			10			20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	10			10			20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
語用論、社会言語学、言語と文化、認知言語学の分野で扱う事象について、授業内で学習した内容を深く理解した上で、自分で取り上げた別の事象に応用して具体例を挙げながら、わかりやすく説明できる。				語用論、社会言語学、英語と文化、認知言語学分野で扱う授業内で学習した事象について具体例を挙げながら、大まかな説明ができる。学習した理論を応用し基本的な考察ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	語用論 やり取りが成り立つしくみを「協調の原理」と「会話の含意」を用いて考える			講義、演習		英語学概論Ⅰで使った教科書に目を通し、英語学がどのよ		60

			うな学問であったか復習しておく	
2	語用論 「スピーチアクト理論」をつかって会話を分析する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
3	語用論 「ポライトネス理論」を理解し、会話を分析する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
4	語用論 「ダイクシス」について理解を深める	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
5	語用論 「関連性理論」の基礎を理解し、会話を分析をする	講義、演習	次週行う発表のために、どの理論を使い、何を対象として分析するのか情報収集をする	60
6	語用論 各自が語用論的視点で分析をしたことについての発表	発表、討論	発表のテーマを決め準備をする	60
7	社会言語学 社会言語学が扱う言語変異に関する研究を理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
8	社会言語学 言語選択「コードスイッチング」について理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
9	社会言語学 広告を対象としたジェンダー研究について理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
10	言語と文化 「言語相対論(サピア・ウォーフ仮説)」を通して文化と言語の関係を考える	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
11	言語と文化 文化の文脈度による言語使用への影響について理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
12	言語と文化 「文化の次元」の指標を使って文化の特徴が言語や行動に及ぼす影響を理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
13	認知言語学 「言語は人がどのように世界や物事を捉えているかを映し出す鏡である」というのがどういうことなのか理解する	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
14	認知言語学 ことばの多義性に焦点を当て、聞き手がどのようにその意味を認知しているか理解する。	講義、演習	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
15	理解度テストとまとめ	試験、講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英語学概論 I の講義内容についてのしっかりした理解 英語の単語、文、発音、表現などの基礎力 学問・研究に対する興味、関心			
テキスト	『はじめての英語学 改訂版』長谷川瑞穂編著（研究者）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能です： ○ことばと文化：岩波新書（鈴木孝夫） ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる！ ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	我々が日常的に使っている「ことば」を意識的に分析する方法を学び、なぜ、人間のコミュニケーションが機能しているのかを解き明かしていく。ことばに関心がある人には面白い分野である。講義を聞いて理論を知るだけでなく、その理論を実際を使って、いくつかの言語現象や会話のやり取りを切り取り、分析してみよう。そうすることで、無意識に自分たちがやっていることを理解することができるようになる。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験：授業内で学習した語用論、社会言語学、言語と文化、認知言語学に関する知識の理解度を筆記試験で測る。 試験の解答例は後日配布する。 発表：授業で学習したことを応用して英語の様々な現象について自分なりの説明を発表してもらおう。 発表へのコメントは授業内に行う。			

